

# 市民参加による森林づくりのリーダー的役割を担う人材を育成した事例

事業名：特認事業（森林・林業体験活動支援事業）

市町名：広島市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボランティアを育成するため、森林に関する知識や林業の技術習得に係る「もりメイト育成講座」を開催している。
- ・この講座は、平成8年度から継続して実施しており、講座の修了生は、令和元年度末現在で、延べ666人となっている。

## 取組の内容

- ・事業主体：市民参加の森づくり実行委員会
- ・実施場所：広島市安佐南区沼田町大字 阿戸ほか
- ・実施量：23人(修了生)
- ・事業費：856千円(うち県交付金143千円)
- ・実施期間：令和元年6月22日～令和2年3月7日



## 講座の特徴・効果

- ・下刈りや間伐など、林業に関する一連の作業が学べるカリキュラムで、森林ボランティア活動に取り組もうとしている方にとって、役立つものとなっている。
- ・平成29年度から、森林整備に関わる人材を育成するため、広島市内だけでなく、広域都市圏内の在住者も対象として実施している。
- ・圏域内の森林ボランティアが増えることにより、森林整備や森林に関する理解の醸成が促進された。



# 森の達人研修会(森林整備の基本知識と道具の 使い方の講習会)を開催した事例

事業名: 森林・林業体験活動支援事業

市町名: 呉市

## 取組のきっかけ・経緯

・森林整備の基本知識と道具の使い方の講習会を開き、里山整備をしてもらえる環境を作っていく。

## 今後の展開

・森林ボランティア等の森づくり活動参加へつながるように研修をしていく。

## 取組の内容

- ・事業主体: 呉市
- ・実施場所: グリーンヒル郷原
- ・業務委託先: (一社)広島県森林協会
- ・業務量: 1日 (講師2人、参加者13人)  
座学 森林整備に必要な基本知識  
実習 刈り払い機、チェーンソーの実演  
スウェーデントーチ製作
- ・業務金額: 451千円
- ・業務期間  
契約期間: 令和3年10月22日～12月28日  
研修日: 令和3年11月20日

### 【活動の様子】



## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・昨年のアンケートの要望から、実習の時間配分を見直し、チェーンソーの使い方についてより深く学んでもらうことができた。
- ・新たな実習としてスウェーデントーチの作製を組み入れたこともあり、すぐに定員に達した。

### 【活動の様子】



# 市内小学校での森林に関する体験活動の事例

## 事業名：森林・林業体験活動支援事業

### 市町名：竹原市

#### 取組のきっかけ・経緯

- ・広島県産の木材の利用促進や、森林を守り育てる担い手の育成促進の一環として、小学校で作りたい物の要望を聞いて、県産木材で作成された製品の組み立てを小学生に行ってもらった体験授業を実施している。
- ・令和3年度は小学校6校と学園2校が参加し、紙芝居により森林(人工林)について学んだ後、製品の組み立てを行った。

#### 取組の内容

- ・事業主体：竹原市
- ・実施期間：令和4年1月～2月
- ・実施場所：各小学校及び学園
- ・制作物：移動式掲示板、パンフレットラック、丸椅子、入場・退場門、木製プランター入れ、本棚
- ・部材制作者：太田川森林組合
- ・業務金額：1,738千円



#### 今後の展開

- ・毎年、この事業を続け、森林についての理解を子どもたちから深めていき、山の大切さを感じてほしい。

#### 取組後の感想

##### 【良かった点】

- ・子どもたちが、木に触れ合い、楽しそうに組み立てを行っていた。木のおいを嗅ぐ機会も少なくなっており、良い授業だと感じた。子どもたちからも「楽しかった。良い匂い。」などの声が上がっていた。学校も、欲しいものを依頼しており、過去に制作したものについて、備品として大切に使用されていた。



# 竹林整備と担い手となるボランティアを育成した事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：三次市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・竹林が利用されなくなる中で、放置竹林が拡大し、周辺農地がイノシシによる被害を受ける要因となっている。
- ・そのため、竹林整備ボランティアの育成プロジェクトを立ち上げ、竹林整備活動と竹チップの農業利用等による竹林を資源として生かす活動を始めた。

## 今後の展開

- ・竹林整備のためのチェーンソー講習会、竹林内の植生調査、竹林整備活動等のワークショップを継続する。
- ・この活動が広がることで、放置竹林の解消、イノシシ被害の低減、竹林資源の有効活用が期待できる。

## 取組の内容

- ・事業主体：特定非営利活動法人  
伊賀和志江の川鐵道
- ・実施場所：三次市作木町伊賀和志地区
- ・活動内容：竹林整備活動5回  
(0.5ha、参加者25人)  
竹林植生調査1回(参加者5人)
- ・事業金額：255千円
- ・実施期間：令和4年8月29日～令和5年3月20日

## 取組後の感想

### 【良かった点】

- ・地元住民からイノシシの出没が減少したと活動を評価する声が出ています。
- ・他地域の竹林でも自主的な活動が始まっている。
- ・竹チップの農業利用が年々増加している。

### 【悪かった点】

- ・新型コロナウイルス感染拡大により、少人数の参加となった。

### 【活動の様子】

チェーンソーによる竹林の整備活動



### 【活動の様子】

チップパーによる竹チップの生産



# 中学校と連携しミツマタ植樹を行った事例

事業名：森林・林業体験活動支援事業

市町名：安芸高田市

## 取組のきっかけ・経緯

- ・ミツマタは和紙(特に紙幣用紙)の原料として、古くから栽培されてきた。しかし、最近では大量生産が容易な西洋紙に市場を奪われ減少傾向を続けている。そこで、我が国固有の良質な製紙原料であるミツマタの生産を復活させる植樹を行うこととした。
- ・この活動を通じて郷土を思い、夢を育み、向上する人づくりを目指す。

## 今後の展開

- ・元気な森を次世代に残していくため、二ホンジカの食害にあわない樹種であるミツマタを中心に、地元中学校と連携し毎年植栽を行い、広島県最大の一大群落を目指して計画を進める。

## 取組の内容

- ・事業主体：甲田町資源を守る会
- ・実施場所：安芸高田市甲田町
- ・協力：NPO法人ひろしま人と樹の会  
公益財団法人 日本レスリング協会  
広島県レスリング協会  
フェニックスビジネス(株)
- ・活動内容：参加39名  
ミツマタの苗、カワズザクラやミツバツツジの植栽
- ・実施金額：319千円
- ・実施期間：令和5年3月15日

## 取組後の感想

- 【良かった点】
- ・令和3年度は新型コロナウイルスの影響があり安芸高田市立甲田中学校と連携して植栽できなかったが、令和4年度については甲田中学校と連携することができ、生徒35名、先生4名と協働で植栽することができた。
  - ・植樹会を通じて、森林の大切さや維持していく上での大変さを学んでもらった。

【活動の様子】



【活動の様子】

